

クロム活用シート

5年 理科

1. 単元名『物のとけ方』

2. 本時の評価規準

食塩とミョウバンの実験結果を基に、物の溶け方のきまりについて考察し、物が水に溶ける量は、水の温度や量、溶け方によって違うことを捉えている。【思考・判断・表現】

3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題、学習活動を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 水の量や温度によって、物のとける量は変わるのか考察し、まとめよう </div>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの実験の結果をオクリンクプラスのカードに入力する。 クラス全体の実験の結果を総合的に見て、水の量や温度による、物のとける量の変化について考察する。 C:水の量が増えると、塩、ミョウバンのどちらもとける量が増えているよ。 C:水の温度が上がると、塩のとける量はほとんど変わらないけど、ミョウバンのとける量は増え	C3 班ごとに実験の結果の数値をオクリンクプラスのグラフの枠に入力する。 C2 クラス全体の結果が入力されたグラフを総合的に見て、水の量や温度による、食塩とミョウバンのとける量の変

	るね。	化について考えたことをノートに書く。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対するまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 水の量を増やすと、物が水にとける量は、増える。 水の温度を上げたときの、水にとける量の変化のしかたは、とかす物によってちがう。 </div>	

4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	思考力・判断力・表現力等	I	問題解決・探究における情報を活用する力
		①	必要な情報を収集、整理、分析、表現する力
			目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する。

C3 協働制作

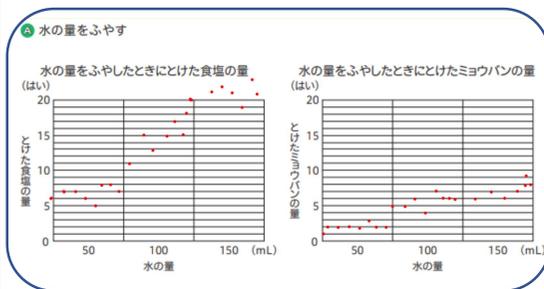
使用するアプリ等 「オクリンクプラス」

	活用の流れ
①	前時までの実験の結果をオクリンクプラスのカードのグラフの枠に入力する。

C2 協働での意見整理

使用するアプリ等 「オクリンクプラス」

活用の流れ	
①	班ごとに入力した実験のデータをクラス全体で合わせて提示する。
②	クラス全体の実験データから、水の量や温度による、物のとける量の変化について考察する。
③	考察したことを全体で交流する。



<https://bso.benesse.ne.jp/miraisseed/fansite/>

活用の効果

オクリンクプラスのカードを利用することで、クラス全体の実験結果を一つのグラフに表すことができた。自分の班の実験結果だけで考察するのではなく、クラス全体の実験結果のデータから総合的に考察することで、ねらいに近づくことができた。